

食品安全委員会放射性物質の食品健康影響評価に関する ワーキンググループ（第8回）の結果概要

日 時：平成23年7月21（木）16：00～18：19

場 所：食品安全委員会中会議室

議事概要

（1）放射性物質の食品健康影響評価について

- ・放射性物質の食品健康影響評価について、ウランに関する食品健康影響評価（たたき台）について議論された結果、ラットの毒性試験結果のLOAELから、不確実係数300を適用して、TDIを $0.2 \mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/日とされた。
- ・食品健康影響評価（たたき台）に関する議論が行われ、累積線量で評価結果をまとめる方向とされた。
- ・放射線被ばくによる悪影響が見いだされているのは、累積線量でおおよそ100mSv以上と判断されたこと、100mSv未満の健康影響については不明としか言えないこと、及び小児、胎児に関する影響に関しては何らかの形で言及する必要があること等が座長より提案されたが、議論が行われ、次回も継続して議論することとされた。
- ・食品健康影響評価（たたき台）に加筆修正すべき点や追加すべき文献がある場合は、7月22日（金）までに事務局に送ることとされた。

（2）その他

- ・次回は7月26日（火）午前10時から開催することとされた。